

成田市インターネット市政モニター アンケート集計・分析結果（第33回）

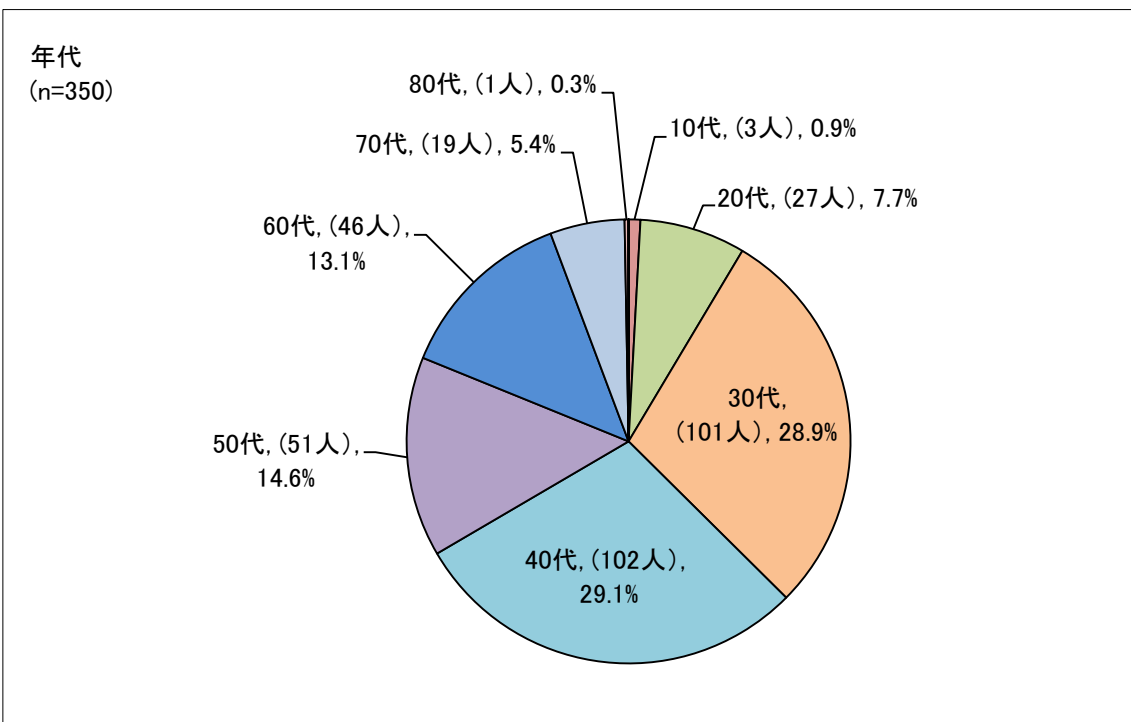
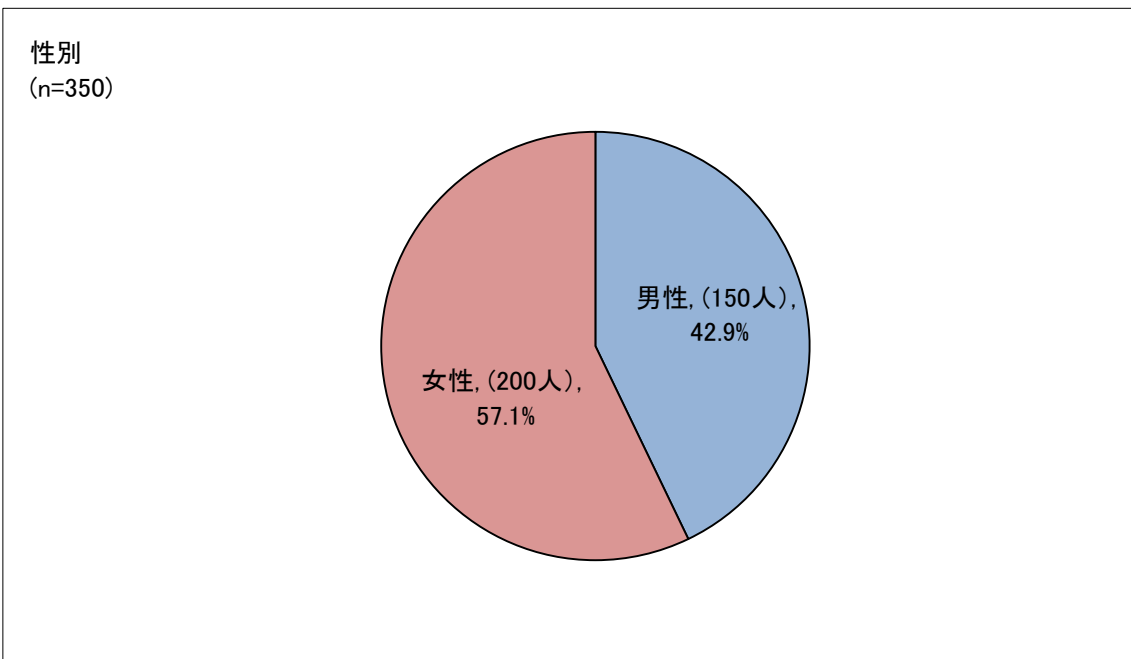
第33回のテーマは

「市の防災マップに関するアンケート」でした。

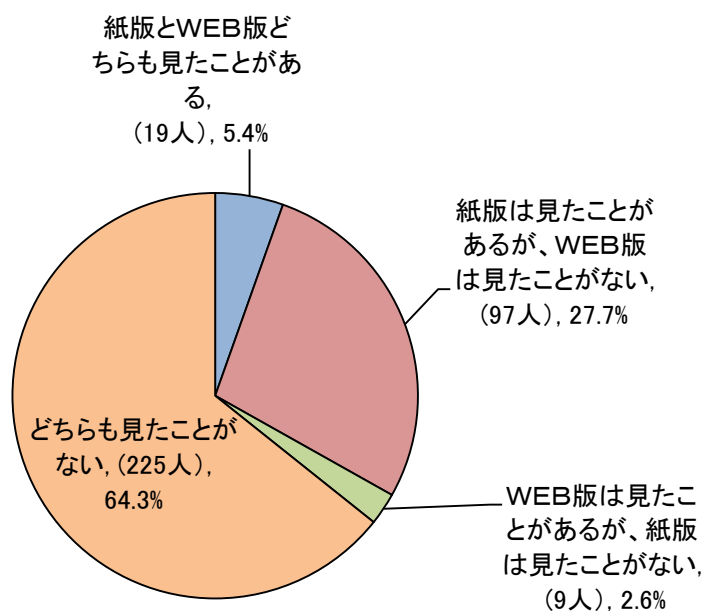
登録者数：519人

実施期間：平成28年10月7日（金）～10月17日（月）

回答者数（回答率）：350人（67.4%）

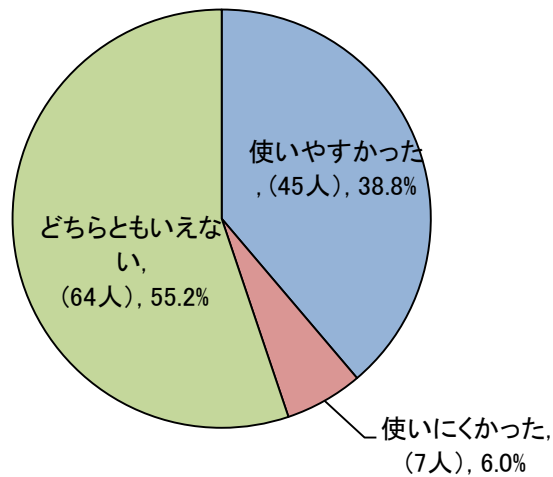


[Q1]あなたは新しくなった防災マップを見たことがありますか。(単一選択)
(n=350)



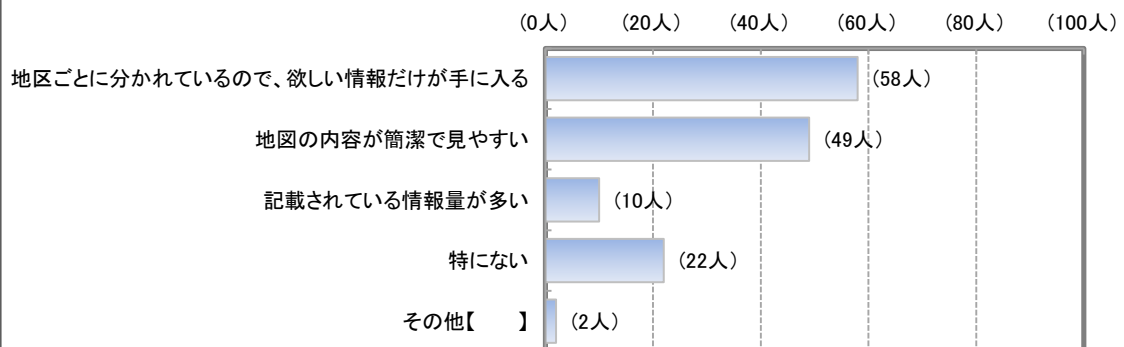
○アンケート回答者のうち、64.3%の方が紙版とWEB版のどちらも見たことがないことがわかりました。一方、防災マップを見たことがある方の中で、紙版を見たことがあると回答した方は33.1%だったのに対し、WEB版を見たことがあると回答した方は8%と低い結果となりました。WEB版の防災マップは、パソコンやスマートフォンがあればどこからでも閲覧することができ、防災に関する情報を入手することができます、市の作成した防災マップを市民の皆様幅広く知っていただけるよう、啓発活動を今後より一層積極的に行っていく必要があると考えます。

[Q2]新しくなった紙版防災マップの感想を教えてください。(単一選択)
(n=116)



○紙版防災マップを利用した人の中で、38.8%の方が紙版防災マップを使いやすかったと回答している一方で、使いにくいと感じている方も6%いることがわかりました。

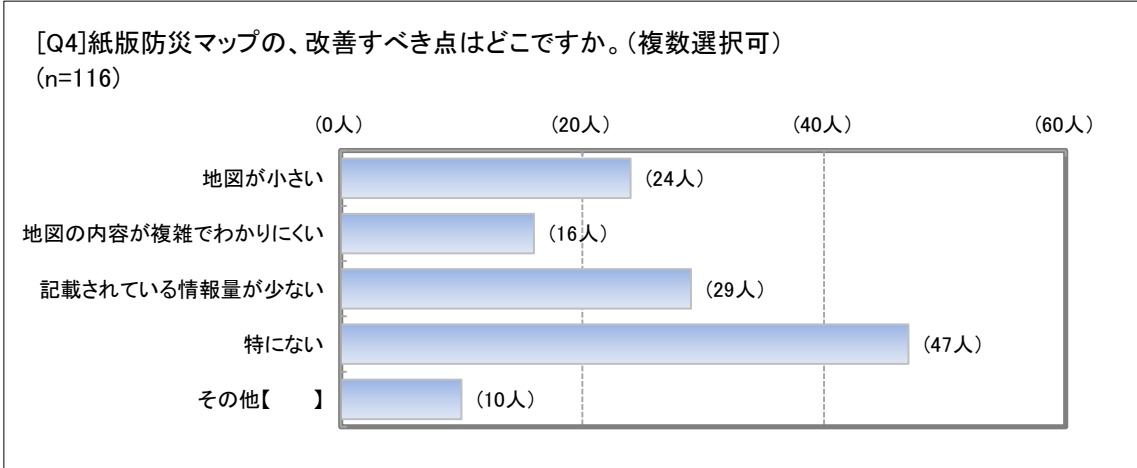
[Q3]紙版防災マップの、よかった点はどこですか。(複数選択可)
(n=116)



Q3 その他回答

避難場所が明記されている／改定版は見ていないです

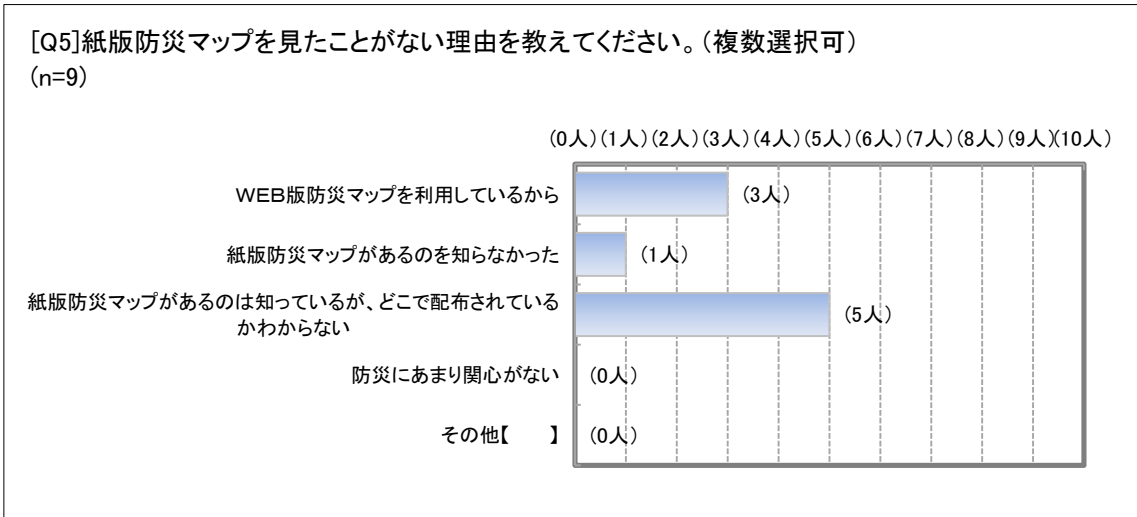
○市内を12の地区に分けたことで、自分の住んでいる地区の情報のみが手に入る点を良かったと考える方や、防災に関する必要最小限の情報のみを掲載することで、内容が簡潔で見やすいと考える方が多いということがわかりました。



Q4 その他の回答

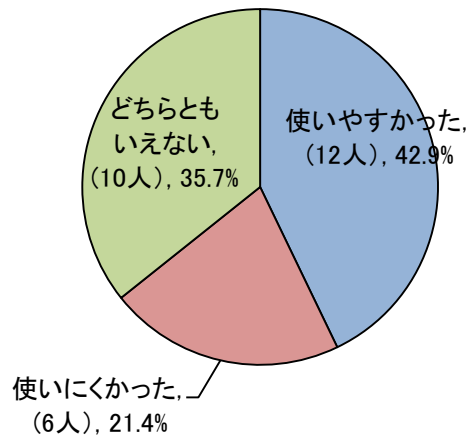
見ていないのでわからない／新設道路を地図に含めてほしい (公津地区)
 国や国土地理院の情報との間に乖離がある／自分の地区しか把握できない。成田市全体の概略マップも手元があれば、市内全体を把握するのに役立つのでは？／避難通路、注意点、高齢者・障害者に向けて／使用している地図が古いのでできる限り最新を使って頂きたいです。航空写真も活用して頂きたいです／活用方、用途により異なる／もっと周知をした方がよい／どのタイミングで更新されて新しい防災マップが発行されているのか分からない／富里市との境界の部分が無いため、ハザード区域がよくわかりません

○改善すべき点として、「掲載されている情報量を増やしてほしい」といった意見や、「地図が小さく見づらい」「内容が複雑でわかりにくい」といった意見もありました。



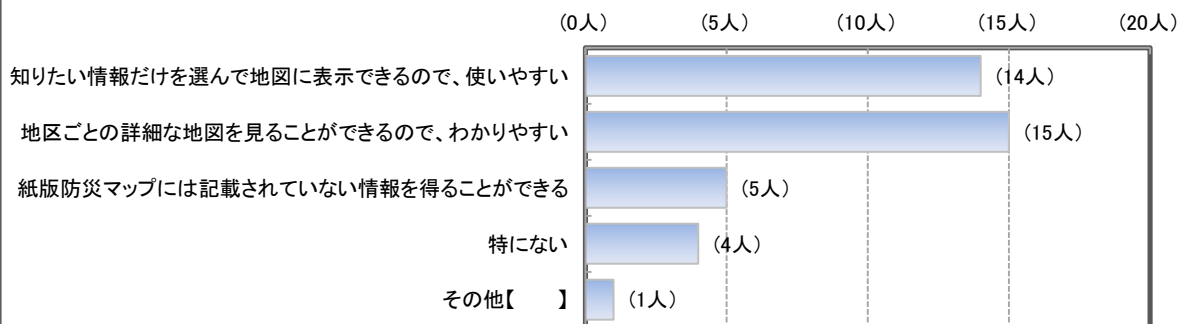
○紙版防災マップについては、市役所本庁・各支所・市内各公民館で配布していますが、今後は図書館など、多くの人が集まる他の公共施設にも設置し、手に取って頂ける機会を増やす必要があると考えます。

[Q6]WEB版防災マップを利用した感想を教えてください。(単一選択)
(n=28)



○WEB版防災マップを利用した人の中で、42.9%の方が「使いやすかった」との感想を持っていることがわかりました。

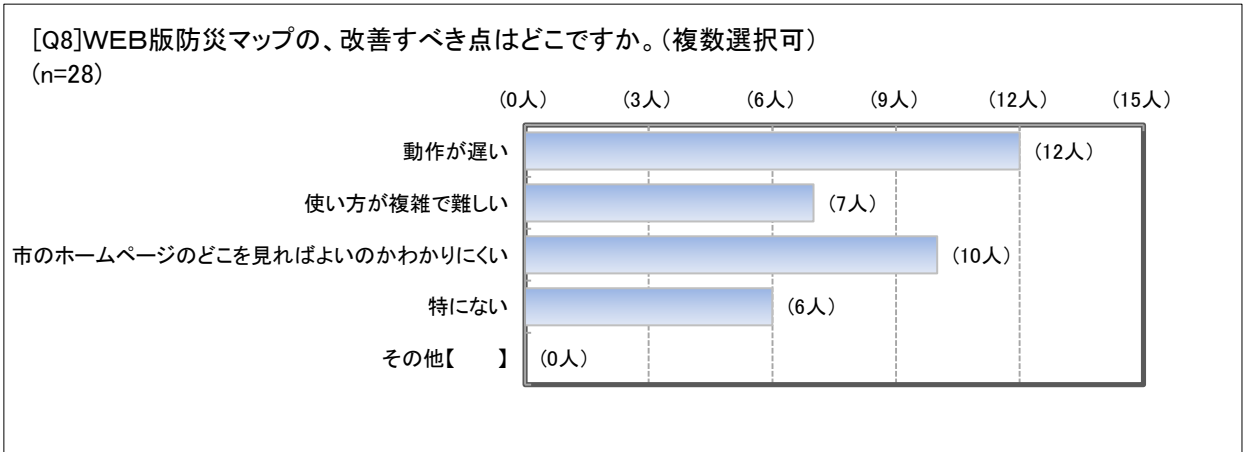
[Q7]WEB版防災マップの、よかった点はどこですか。(複数選択可)
(n=28)



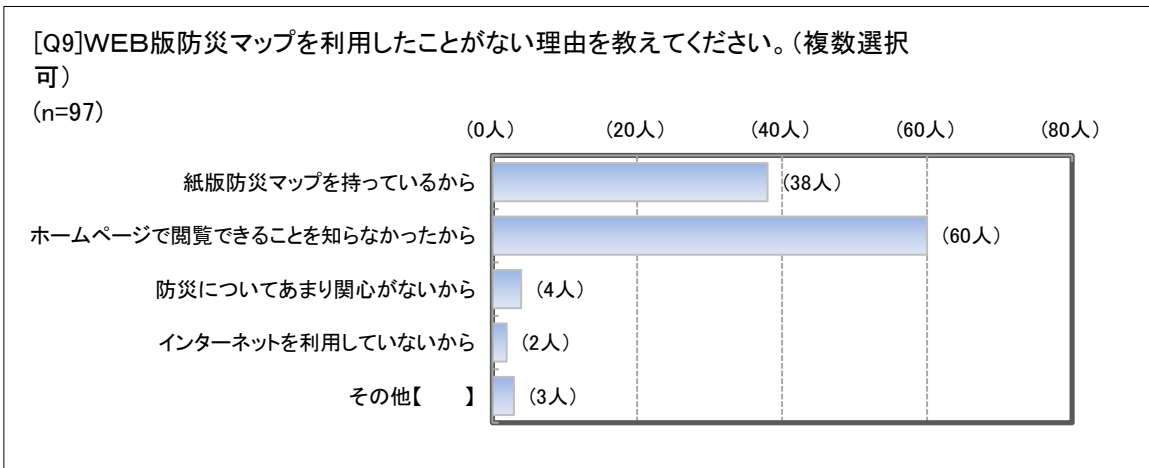
Q7 その他の回答

応答が遅い

○アンケート結果から、WEB版防災マップ特有の機能を利点と感じている方が多いことが伺えます。



○WEB版防災マップを利用したことがある方が、改善が必要であると感じた点として、「動作が遅い」や「市のホームページのどこを見ればよいのかわかりにくい」といった意見がありました。動作の重さに関しては、利用する方のインターネット環境にも左右されますが、防災マップの場所がわかりにくいという意見に関しては、市のホームページの目立つ箇所に配置するなどの配慮が必要であると考えます。



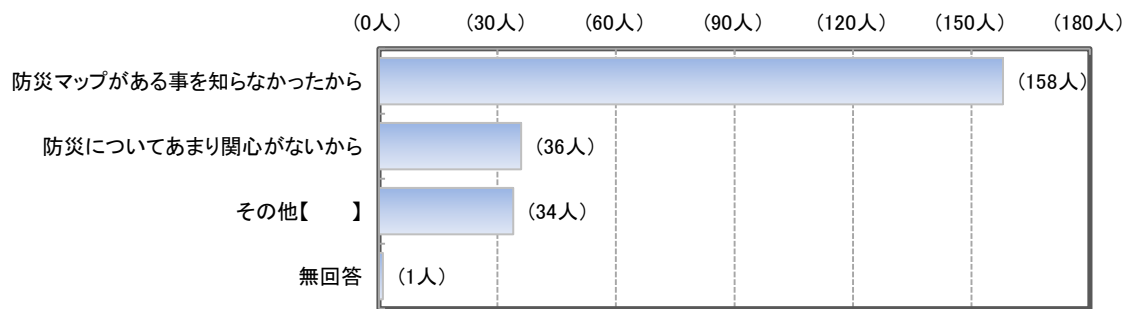
Q9 その他の回答

アンケート後に早速WEBを覗いてみます。いざという時にはやはりハザードマップに頼ってしまうと思います／避難場所を決めている／億劫

○WEB版の防災マップを利用したことがない理由については、「紙版防災マップを持っているから」と「ホームページで閲覧できることを知らなかったから」の回答が際立って多い結果となりました。WEB版防災マップの認知度の向上のため、今後も広報紙等により啓発活動を行っていく必要があると考えます。

[Q10]防災マップを見たことがない理由を教えてください。(複数選択可)

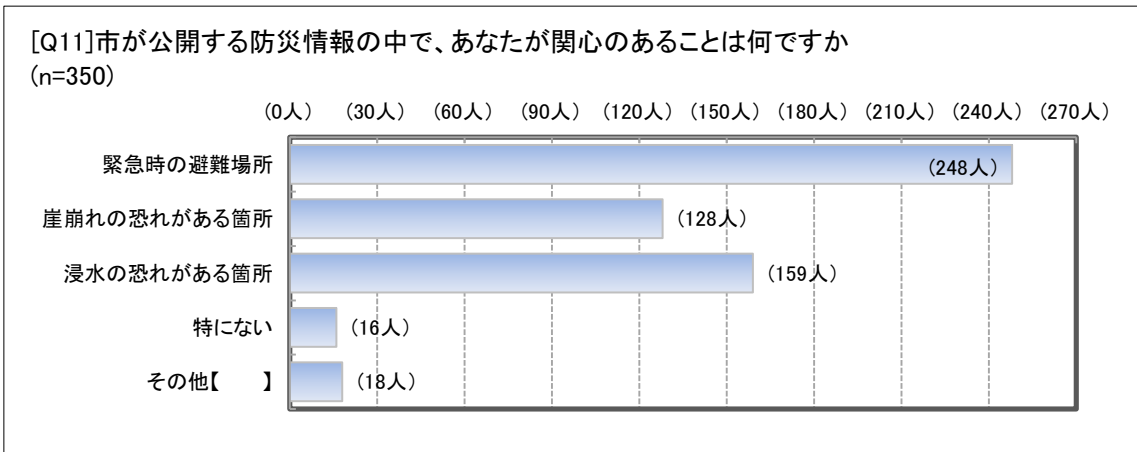
(n=225)



Q10 その他の回答

みる機会がない／見たことはありますが、最近新しくなったのであればそれは見ていません。
どこで見られるかを知らない／他地域に滞在がすることが多かった／避難場所を把握していれば大丈夫であると考えていたため／マップが新しくなっている事を知らなかったから／新しくなったことを知らなかったから／最近改定した防災マップは見たことがない／新しいマップが発行されたことを知らない／どこで見られるのか知らない／自宅が安全な場所にあるから
特に見る機会がなかったから／ウェブ版は重くて見づらい、紙版は見たことない／防災マップは手元にあるが、新しいかそうでないかはわからない／刷新されたことを知らなかった／見る機会が無かった／新しくなったタイミングを知らないから／防災マップを見たことがあるような気もするが、どのようなものかの記憶がないので見たことがないに等しい
しばらく前のマップを記憶している／古いものしか持っていない／新しくなったことを知らなかった／忙しくてつい見逃していた。以前のは保存しています／存在をしらなかった／最新のものは手に入れそびれている／タイミングを逸した／各家庭に配布されたのでしょうか？どこで手に入れるのかわからない／見る機会がありませんでした／特に理由はない／昔回覧板に同封されていた紙の防災マップしか知らず、最新版があることを知らなかった／関心は、あるけれど見るタイミングがなかったから／昔のは見た事があるが、新しいものを作成中なのは知らなかった／どこで見られるかしらなかったから／関心はあるが見ていなかった／防災マップを知っているが、新しい物を見る機会がない

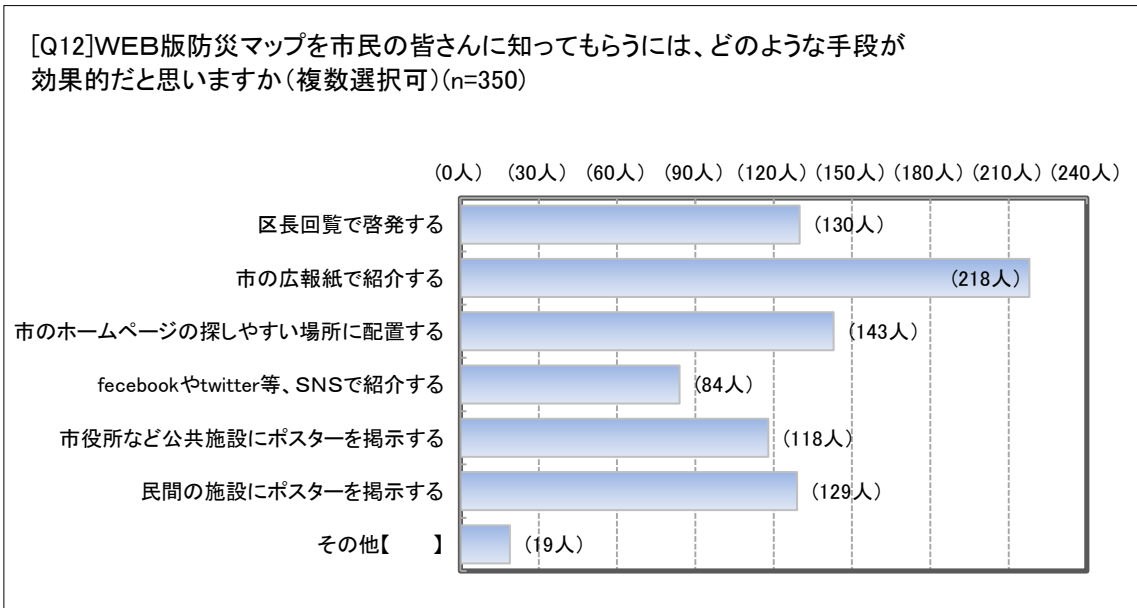
○防災マップを見たことがないと回答した人の半数以上が「防災マップがあることを知らなかった」と回答しています。また、自由記入欄においても、防災マップの存在を知らなかった・最新のものは持っていなかった等の回答が見られました。そのような方に防災マップを知ってもらえるよう、周知する機会を増やしていく必要があると考えます。



Q11 その他の回答

ペット同伴可の避難所の場所／公開情報を知らない／道路の冠水箇所／暴風雨について／地域によって避難する状態(こういう時避難する)といったのが違うと思うのでその目安／避難場所道路や交通の情報／緊急時に提供される情報の種類・手段・頻度・内容について知っておきたい地震時の避難・対応手順／道路の崩落危険場所が明示されていない／2 個の制限があるのでその他にしました。上記の 2 項 3 項両方の情報に関心が有ります雨量、冠水情報／井戸水が使える場所／大雨／緊急時の身内への連絡方法／最新の情報／どこの建物が安全か危ないか知りたいです／避難したあとの場所内での決まりなど

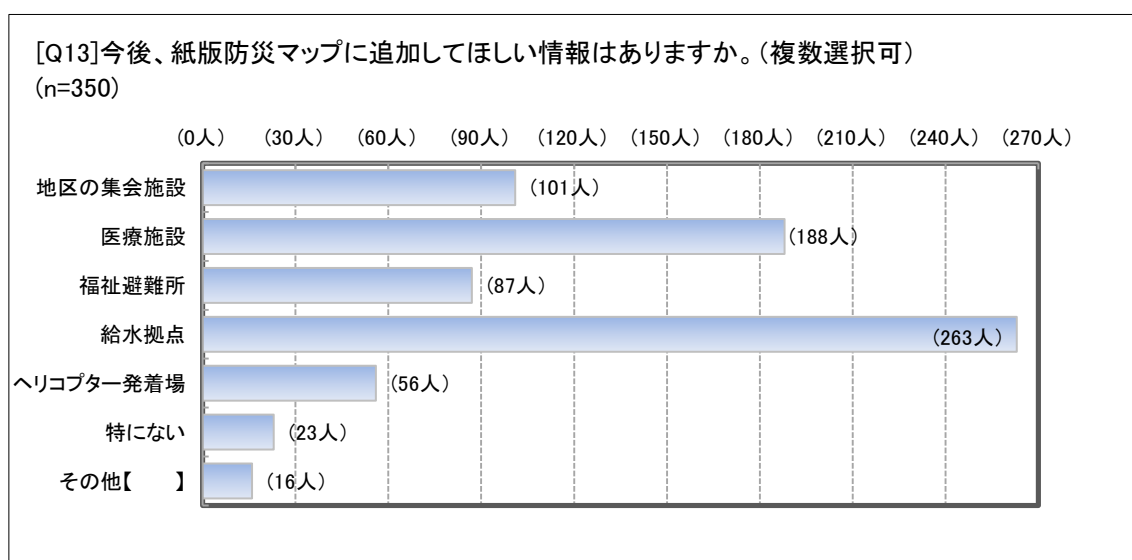
○全回答者の半数以上が「緊急時の避難場所」に関心があることがわかりました。また、「崖崩れの恐れがある箇所」「浸水の恐れがある箇所」についても、関心を持っている方が多数いることがわかりました。今後も、これらの情報を継続してマップに記載して参ります。



Q12 その他の回答

看板など立てる／各家庭に配布する／住民の近所で受け取れるように準備して、回覧板で知らせる／定期的にメール配信する(PC、スマホのみ)／新聞広告に入れる／各家庭に配布／一家に1部配布など／新聞などに折込んでもらいたい／各家庭に配布する／WEB へのアクセスのし易さがポイントと思います。老若男女が、必要なときに誰でも直ぐに見られるようにしておけば、多くの人に広がると思います。マップを利用する側に立って考える事が肝心。マップ作成者側の便利さ・効率等を追求しては、利用されないで終わってしまうのでは？／選挙時や役所での手続き時などのタイミングを利用して配付／駅の広告／避難施設や避難場所に看板等で周知させる／スーパーなど確実に市民が定期的に来るところでの周知／ボンベルタとかイオンとかの店舗にはりだす／機会があるごとにイベント等の時に啓発する／無料のチラシなど作って送る／新聞折り込み／市の広報紙は見た事すらありません

○「市の広報紙で紹介する」を選択した方が最多であり、市から発信される情報を知る手段として、多くの方が広報紙を利用していることがわかりました。また、市の公共施設や民間の大規模集客施設、駅等において、ポスター等を掲示するといった事も、アンケート結果から有効な手段であると考えます。



Q13 その他の回答

空港で何かあった場合の対処について／Free Wi-fiができる場所／地震、竜巻、浸水の恐れがない夜間利用可の建物／赤ちゃんのいる世帯、災害弱者の保護設備がある場所／災害時の情報収集手段／緊急ダイヤルや災害時に便利なスマホアプリやサイトの情報／救急医療対応医院／緊急時限定トイレ、公衆トイレ／道路や避難経路上の危険箇所／上記に多くをチェックしましたが、複雑になり過ぎないように。医療施設も入れれば良いのですが、数が多いし、いざという時には救急車／見ていないので分からない／緊急時Wi-Fi設置基地局、電源設置場所／著名地点の標高／素材を耐水性にしてほしい／女性の更衣などへの配慮について

○非常時の給水拠点、次いで、医療機関の順に多い結果となりました。

Q14 自由意見

- ・マンションが多い成田市では災害時にマンションにとどまる人も多いのではと思います。避難場所はすぐ満杯になり、とても入れるとは思いません。
- ・新聞紙の中折りやチラシで広告してほしい。
- ・今 市民の防災意識はとても高くなっています。興味を持っている人が多い今、成田市が素早い対応をされることに安心を感じます。
- ・自然エネルギー(風力、太陽光)の発電設備を準備してはどうか、給水が一番心配です
- ・ゴミ袋の売り場に置いておくとなんとなく持っていこうと思う
- ・成田市を区単位で線引きをして、その地区に配布する防災地図はその地区を拡大して作成しては如何でしょうか。
- ・公共施設の入出口など、普段目に着くところに設置していただきたい
- ・普段から使うマップではないのですが、頑丈な造りを希望します。(災害で破れたり水ぬれしたりするし、長時間自宅保管するためにも)
- ・防災時の広域対応が求められていることから、隣接市町村の情報表示も重要かと思います。
- ・成田には空港があります。私が1年の半分を過ごしているのは活火山の近くです。それぞれの地区特有の課題について、気を付けたいこと等、特記していただけると良いかと考えます。
- ・今回のアンケートにより、今一度確認してみようと思いました。
- ・障害児が居るので、福祉関係の職員を配置している避難所など知りたい
- ・日常の道路冠水しやすい箇所等も入れて欲しい
- ・市全体図では分からない、地区ごとの詳細図(冠水道路や崖崩れの可能性がある部分など)があるとよい(避難経路の検索のため)。
- ・避難路の確保、夜間時に稼働できるのか、公共以外の避難所の確保防災品(食糧、飲料水、防寒対策)の確保は各自で確保。緊急時は各自で対応する。夜間行政は当てにならないことを明記する。職員の災害時には確保できるのか?職員が成田市以外の住居地が多い。
- ・東京都の『東京防災』のような冊子を作成し、全家庭に配布してほしい。
- ・市の広報に、別冊で折り込んで、家庭に貼って置けるようにしてほしい。
- ・赤ちゃんを出産するにあたり、災害弱者のことを再認識しました。
不慣れな中何かあったらと思うと心配です。足腰の悪いかた、赤ちゃんを抱えているかた、目や耳の不自由なかたなど様々なニーズがありますが、ジャンルごとのニーズに強い非難場所の確保があると、災害から数日後これからどうしていくかという時同じ状況のもの同士助け合いもスムーズだし、赤ちゃんがいる人同士助け合えたり、必要な支援物資もまとめて送ってもらったり出来ていいのではと思いました。
- ・絶対に必要と思います。

- ・常々考えていますが、いざという時に、避難所までは、遠すぎて、行けないと思っています。嵐の中や、地震被害の中、着くまでに、中間地点に公民館がありますが、そこまでも、無理かな？と考えているのに、実務的では無いと思います。
- ・全軒配布できるようなマップの内容とサイズを検討していただき、自治会に配布を依頼して、全軒配布してほしい。
- ・見ていないのでどういう感じかわからない
- ・すべての住居に、郵送などで知らせてもらえたら、もっと沢山のの人に知れ渡るのではと思います。コストはかかるだろうけど…そのぶん、ポスターをやめるとか、全然そんなものが出来ているなんて知りませんでした。
- ・子供用を作成すべき
- ・可能ならば全戸に配布したら良いと思います。
- ・とても見やすいマップなので、たくさんの方の役に立ってほしいです。
- ・市民にどの程度浸透しているかが大事だと思いますが、どのように検証をしているのでしょうか？このアンケートですか？
- ・マップに情報が多いのは見づらくなってしまい、良くないと思っています。もし、災害が発生したときは、避難所に情報を集中することに決めておけば良いかと思います。(出来ればネットにも)
- ・市の防災マップの配布は、回覧板、市役所、公民館等に配布しているが、もっと配布場所を広げたほうが良いと感じる。
- ・初めて防災マップの事を知りました。早々に自分で確認したいと思います。
- ・少なくとも単なるパフォーマンスのために無駄な市民のお金を使わないようにね
- ・自宅は特に防災について心配ないと思うが、成田市全般を見れば危険な箇所が沢山あるので、防災マップが活用しやすく、わかりやすくなるといいなと思います。
- ・そもそも、3年くらい前のゲリラ豪雨での復旧も済んでいないので、そちらから先に実施すべき(成田中学校、成田山駐車場付近の交差点、成田湯川駅前通り)あまりにも遅すぎる。
- ・建物が高いのが多いところなどあったらいい
- ・自分の地区の災害可能性(浸水や崖崩れ等)が低いため、危機感が低いかも知れません。多分、ご近所の方も同じではないかと感じます。地区全体で、災害に対する対策や知識を深められるといいかもしれません。
- ・防災という、まさに事前に準備し災害を防ぐためのものとして用意されているわけですが、結局は日常生活上の関心としては薄く、何か災害が実際に起こってから初めて防災マップの重要性が明らかになるのではないかと考えています。
- ・手元にある冊子タイプの物は平成20年3月発行と書いてあるものは比較的に見やすいが、「うなりくん」のある大判の物は発行年月がないので最新のものか否かわからない。そして地図の色がうすい灰色で年寄りの目には非常に見づらいので非常時には使えないのではと危惧する。なお、WEB版は非常時には停電や損壊でパソコンが使えず役に立たないのではと思う。
- ・防災マップを見たことがないです。正確には、手にしたことはあるかもしれないのですが、危機意識がなく見ずにスルーしたのかもかもしれません。給水拠点などの情報が載っていると、マップを捨てずに保存すると思います。
- ・内容のしっかりした安心安全の紙面だと思います。紙質のしっかりした物なのが良い。マーカーが引けるだろう。ボールペンで文字が書けるだろう。指定通り、実際に歩いてみたくなった。
- ・もう少し、避難しやすいところにしてほしい!学校などだとフェンスなどがあり。入らなかつたりします

- ・避難所に適切でないところがある。高齢者への配慮に欠ける
- ・大体のイメージ(マンガチック?)、簡略化した簡易版などを別途作成しマップが手元に無い場合でも何となく場所を覚える事が出来るような工夫された地図があると良い
- ・道路の危険箇所が明示されていないことや地震動・液状化記検討の情報が、国や国土地理院情報等と乖離しており(メッシュ間隔の正確さを含め)、精査の上での確定版を策定することが必須である。
- ・テレビニュースでよく見られる、アンダーパスでの車の水没は他人事と思えません。成田市内においての対応は、どうなのか知りたいです。
- ・あまり関心の無い人にもでも気づきやすい方法で展示して欲しい。
- ・知らない人に、伝える方法を本気で考えてもらいたいです。
- ・賃貸の人たちは、どうするのでしょうか？ 一時的でも、市民です。
- ・予算等のことも考えなくてはならないが、市民の命に関わることなので、全戸配布も検討すべきではないか。
- ・状況に応じて最新版への更新を遅滞なく行うこと。
- ・ある事自体知らなかったのもっと周知出来るようにして欲しい。
- ・もっと目に触れる機会が多いとよいと思います。各家庭への配布や公共施設に貼ると身近になると思います。
- ・市民一人一人が防災マップの存在を知り、内容を把握できるようしっかりわかりやすく広報した方がよい
- ・あまり大きすぎると使いにくいと思うので、大きすぎないものがよいです。公共施設や病院などに掲示してあると目に入りやすいかと思います。ポケットサイズのを家の非難袋に入れておきたいです。
- ・そこに危機が迫っている緊張感を以て迫るプロガタンタ
- ・紙面で確認したいので、回覧の時に配布して欲しい。
- ・今の居住場所は崖崩れや水害の恐れはないが、停電、断水時の対応や緊急時の身内との連絡困難などの恐れを懸念している。停電、断水は事故対策しているが、電話連絡が取れない時の対応策として、電話各社の災害伝言版をもっと広めてほしい。
- ・コンパクト版や PDF 詳細(iBooks)など
- ・これからも見やすい防災マップ作成をお願いします
- ・埋め立てされる以前の地形、地盤など。
- ・Web 版ですが、こちらの PC の問題かもしれませんが、遅く使いづらいです。特にクリックして一旦表示されてもすぐに元に戻ってしまう画面が何度かありました。PC の問題でないようでしたら、ぜひ改善していただければ助かります。
- ・新聞を取っていないので、広報が定期的にもらえる機会がないです。団地、マンションなどには掲示用に配布いただければありがたいです。
- ・広範囲から、狭い範囲までいろいろあると、各人が保存しやすいのではないのでしょうか？
- ・駅などに人が集まる場所に大きく貼ればもっと防災マップのことを皆さんに周知できると思います。私は防災マップの存在は知りませんでした。
- ・ベビーカーで通れるかなど、バリアフリーの情報ものせてほしい
- ・非常時のアナウンスは、具体的に場所を言って欲しい。
- ・ひと家庭にひとつ配布していただきたいです。
- ・避難所においてペット受け入れの是非について記載してはどうか。
- ・Q13 にもありますが、福祉避難所についての情報をもっと載せて頂きたいです。

- ・住居地に特に問題はないのですが買い物や職場に行く途中で雨が降ると道路がかなり水がたまってしまったりとあります。大雨が降ったら対向車に会うたびに前が見えなくなり危険をかんじます。地図に書き込むことは無理だと思いますが道路のくぼんだところの補修など検討いただけたらとおもいます。
- ・紙版だと他の市などで災害が起きたときにすぐ確認ができてよいです。ウェブも見てみようと思います。
- ・実際の避難時には富里市の道路を通ることになるため、空白の表示はやめて頂きたいと思います。家によっては距離的に最短の避難場所が指定外となる場合があると思いますので、避難所ごとの範囲分けが明確になるようにして頂きたいと思います。
- ・外国人にも知ってほしい。
- ・パッと直ぐに使えるければ意味がない。1世帯毎に配布しても良いのでは？市民の大多数が避難できる場所を知っているくらいまでどうやって浸透させるか、行政の知恵が試される。
- ・もし、各家庭に配布されないのなら、比較的市民が利用する公共施設や、病院、ショッピングエリア、各スーパーなどの方が何気に見やすいし、目に触れる回数が増えると思います。
- ・このアンケートが来たときに、防災マップがあるなら見てみようと思ってパソコンで見ようとしたけど、どこでどんな情報が得られるのかよくわかりませんでした。危険な場所というのはそうそう変わるものではないと思うので、1度ちゃんと知りたいなと思いました。
- ・防災マップが作成されていますが、最近の大規模災害事例をみると想定外との報告がなされています。地球温暖化の影響もあり、防災マップが信用できるか疑問な部分もあります。
- ・存在をあまり知らなかったのもっと広報をした方がいいと思う。
- ・安全な避難ルートなども掲載されるとよいと思います。
安全 → Ex.道幅が広い。電柱が少ない。など
危険 → Ex.道路狭隘、木造家屋密集。など
- ・冠水場所を詳しくしてほしいです。
- ・分割されていてもかなりの広範囲なのでもう少し分割数を増やして地図を大きく表示してほしい
- ・3.11の時もそうでしたが、今後も大きい地震が来るかもしれないので、揺れの状況を色別で分けたものや、危険箇所、また、避難場所についても詳細が欲しい。
- ・子育て家族ならもりんぴあや福祉館などにポスター掲示してもらったりすると周知されやすいと思います。
- ・最近新聞を取っていない人が多い。折り込み中心の広報誌だけだと、手元に届かない市民が増えている。だからと言って、WEBやSNSだけだと高齢者に漏れるが、区長からの回覧板ならお年寄りにも行き届くのでは(自治会に入っていない人も増えて来ているように思うが…)。色々な方法での重ね重ねの告知が必要ですね。
- ・外国人でも分かりやすい防災マップもあればいいなと思います。
- ・誰にでもわかりやすい場所に掲示し、常に目に入るようにするとよいと思う。
- ・給水や事前に検討されていれば救援物資の配布箇所等を記載してほしい。
- ・防災マップに限らず市の広報紙がこないの、どうすれば手に入るかをしりたいです。
- ・避難した後、1週間以上にわたる場合のプライバシー確保スペース、子どもたちの遊び場、女性の更衣への配慮など、より多様な視線での避難所生活ができるよう配慮をお願いする。
- ・役に立つ物なので、より多くの市民に活用されるよう、色々な角度から地道なPRが必要。
- ・これを機会に、防災マップを閲覧したい。
- ・今回のアンケートがあって、防災マップを調べ、すごく為になりました。すごく重要なことがわかって感謝でした。

～まとめ～

市の防災マップに関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。市が公表しているハザードマップについて、見たことがないと回答の方が6割を超えるなど、まだまだ市民の皆様にはハザードマップの存在を周知しきれていないということが今回のアンケートでわかりました。

現在成田市では、紙版とWEB版の2種類のハザードマップを作成し、ご利用頂いておりますが、これらのうち、最新の情報をいち早く反映でき、必要な情報を選択して表示できるメリットのあるWEB版のハザードマップをより一層市民の皆様には周知していきたいと考えており、今後は市内の公共施設や駅に掲示する等の啓発活動を行い、認知度を高めていきたいと思っております。

今回いただいたアンケート結果やご意見は、今後市が行う防災啓発や減災活動に役立てて参ります。

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。皆様のご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。

今後とも、成田市インターネット市政モニターへのご協力をお願い致します。